

第11回成果報告会プログラム

期日： 2018年（平成30年）3月25日（日）13:00-18:00

会場： 東京理科大学 森戸記念館（新宿区神楽坂4-2-2）
第一フォーラム（オーラル），第一会議室（ポスター）

共催： 認定NPO法人富士山測候所を活用する会
東京理科大学総合研究院大気科学研究部門

後援： 公益財団法人 粟井英朗環境財団
一般社団法人 新技術振興渡辺記念会
公益信託 大成建設自然・歴史環境基金
トヨタ自動車株式会社「トヨタ環境活動助成プログラム」
公益財団法人 日本環境協会 東京ガス環境おうえん基金

13:00 開会宣言 鴨川仁（成果報告会実行委員会）
開会のご挨拶 畠山史郎（NPO理事長）

13:05 - 14:05 オーラルセッションA

座長 小林拓（山梨大学）

13:05	A-01	9年間の富士山頂のCO ₂ 濃度観測結果	○野村渉平，向井人史(国立環境研究所)
13:20	A-02	2017年夏季の富士山でのCO, O ₃ , SO ₂ 測定 * 新技術振興渡辺記念会受託事業	○加藤俊吾，高田大地，千島峻（首都大），三浦和彦（東京理科大），大河内博（早稲田大），小林拓（山梨大），鴨川仁（学芸大）
13:35	A-03	富士山の山頂お鉢および宝永火口における火山ガス調査	○大河内博，山地達也，島田幸治郎（早稲田大），戸田敬，岩崎真和，光石夏澄（熊本大）
13:50	A-04	航空機排ガスが上空大気質に与える影響：富士山頂で調べることができるのか？	○大河内博，山脇拓美，島田幸治郎（早稲田大），皆巳幸也，勝見尚也（石川県立大），小林拓（山梨大），戸田敬（熊本大），米持慎一（埼玉環境科学国際センター），竹内政樹（徳島大）

14:15 - 15:40 オーラルセッションB

座長 皆巳幸也（石川県立大学）

14:15	B-01	富士山頂で昼夜別採取したPM _{2.5} の化学成分の特徴	○米持真一，堀井勇一，藤井佑介，畠山史郎（埼玉環境科学国際センター），大河内博，小西智也，崎山浩太（早稲田大），Ki-Ho Lee，Chul-Goo Hu（韓国済州大）
14:30	B-02	偏光OPC観測ネットワークによる2017夏期観測結果及び精度向上のための検討 * 2017年度粟井英朗環境財団助成事業	沖由裕，石井雄太，○小林拓（山梨大），林政彦，白石浩一（福岡大），財前祐二，五十嵐康人（気象研），佐野到（近畿大），鶴野伊津志（九州大），西澤智明，清水厚，杉本伸夫（国環研），三浦和彦（東京理科大）
14:45	B-03	山岳大気エアロゾルの気候への影響に関する研究	○三浦和彦，森樹大（東京理科大），永野勝裕（東京理科大理工），矢吹正教（京都大），加藤俊吾（首都大），和田龍一（帝京科学大），大河内博（早稲田大），小林拓（山梨大），東秀憲（金沢大），鴨川仁（学芸大），足立光司（気象研），岩本洋子（広島大），青木一真（富山大），櫻井達也（明星大），植松光夫（東京大）
15:00	B-04	富士山麓太郎坊におけるエアロゾル数濃度の変動要因（10分）	○越田勇氣(海城高校)，桃井裕広，三浦和彦(東京理科大)
15:10	B-05	通信機能付き簡易モニタリング機器の実証実験（10分）	○遠藤周(東京大)
15:20	B-06	「理科準備室へようこそ」— 富士山頂での教材開発 VI —	○古田豊，島野誠大（立教新座中・高），田中寛崇，清水拓海，関根幹人，田中隆将，長岡大央，根本侑（立教新座高観測部）
15:35	総説	2017年度富士山測候所活用成果の概要及び今後の展開	成果報告会実行委員長・NPO学術科学委員長 鴨川仁

16:45 - 18:00 オーラルセッションC

座長 加藤俊吾（首都大学東京）

16:45	C-01	ビーコンを活用した富士山登山者の動態把握と今後の展開	○田中義朗（日本工営），畠中雅弘（イノテック），安永隆一（UQコミュニケーションズ），木村知（東急エージェンシー），福崎明伸（センチマーニ），磯谷和也（中日本航空）
17:00	C-02	2017年の雷・大気電気研究チームの成果の概要	○鴨川仁（学芸大），雷・大気電気研究チーム
17:15	C-03	富士山測候所の山麓に繋がる既存接地線を用いた雷現象検出器 * 2015年度トヨタ環境活動助成事業 * 2017年度新技術振興渡辺記念会受託事業	○安本勝（ヤマザキ），鴨川仁（学芸大），佐々木一哉（弘前大），土器屋由紀子（富士山測候所を活用する会）
17:30	C-04	富士山頂（3776m）における歩行バランスの評価と急性高山病(AMS)との関連について	井出里香（都立大塚病院），高木祐介（奈良教育大），関和俊（流通科学大），油井直子（聖マリアンナ医科大）
17:45	C-05	富士山学校科学講座および高所順応トレーニングの12年間の実践の歩み	浅野勝己（筑波大名誉教授）

15:40 - 16:45 ポスターセッション

15:35	P-01	富士山頂におけるナノ粒子の粒子径分布計測	村本慎仁, チャンドラ インドラ, ○東秀憲, 猪股弥生, イクワンユル, 瀬戸章文, 大谷吉生 (金沢大), 岩本洋子, 森樹大, 三浦和彦 (東京理科大), 加藤俊吾 (首都大)
	P-02	積乱雲の雲頂から飛び上がる巻雲: Jumping Cirrusの観測と定量的解析による特徴	○瀬口貴文, 岩崎杉紀 (防衛大), 鴨川仁 (学芸大), 岡本創 (九州大), 石元裕史 (気象研), 牛山朋来 (土木研)
	P-03	2016-2017年における富士山麓の新粒子生成	○大塚拓弥, 佐藤丈徳, 五十嵐博己, 森樹大, 三浦和彦 (東京理科大)
	P-04	富士山頂における新粒子生成の経年変化	○五十嵐博己, 桃井裕広, 佐藤丈徳, 森樹大, 三浦和彦 (東京理科大), 岩本洋子 (広島大), 和田龍一 (帝京科学大), 加藤俊吾 (首都大), 大河内博 (早稲田大)
	P-05	2015~2017年夏季の富士山頂における雲凝結核の特性	○佐藤光之介, 五十嵐博己, 小菅愛加里, 森樹大, 三浦和彦 (東京理科大), 岩本洋子 (広島大), 大河内博 (早稲田大), 植松光夫 (東京大)
	P-06	2017年夏季の富士山頂におけるエアロゾルの雲粒特性	○小菅愛加里, 佐藤光之介, 森樹大, 三浦和彦 (東京理科大), 鴨川仁 (学芸大), 大河内博 (早稲田大), 植松光夫 (東京大)
	P-07	富士山頂・太郎坊で捕集したエアロゾル粒子の個別分析	○児玉真一, 吉末百花 (東京理科大), 足立光司 (気象研), 五十嵐博己, 大塚拓弥, 森樹大, 三浦和彦 (東京理科大)
	P-08	富士山におけるラドン娘核種の変動と山谷風の関係	○横山慎太郎, 永野勝裕, 三浦和彦 (東京理科大), 櫻井達也 (明星大)
	P-09	2014年から2016年に観測された富士山麓における気柱全体のエアロゾル光学特性	○桃井裕広, 三浦和彦 (東京理科大), 青木一真 (富山大)
	P-10	富士山頂における窒素酸化物の計測	○和田龍一 (帝京科学大), 定永靖宗 (大阪府立大), 加藤俊吾 (首都大), 勝見尚也 (石川県立大), 大河内博 (早稲田大), 岩本洋子 (広島大), 三浦和彦 (東京理科大), 小林拓 (山梨大), 鴨川仁 (学芸大), 松本淳 (早稲田大), 米村正一郎 (農研機構), 松見豊 (名古屋大), 梶野瑞王 (気象研), 畠山史郎 (埼玉県環境科学国際センター)
	P-11	自由対流圏における水晶振動子システムを活用した水銀挙動測定システム	○野田和俊, 兼保直樹 (産総研), 丸本幸治 (国立水俣病総合研究センター)
	P-12	校正用仮設避雷針の実現と雷対策 * 2015年度トヨタ環境活動助成事業 * 2017年度新技術振興渡辺記念会受託事業	○安本勝 (ヤマザキ), 佐々木一哉 (弘前大), 鴨川仁 (学芸大), 大胡田智寿, 土器屋由紀子 (富士山測候所を活用する会)
	P-13	富士山山頂の環境を利用した教育プログラムFuji-sat3のデータ解析 - 高大連携プロジェクト -	藤原博伸 (女子聖学院高・早稲田大・学芸大), 鴨川仁 (学芸大), 稲崎弘次 (音羽電機), 大河内博 (早稲田大)
	P-14	登山行動中の血行動態の解明 - マルチセンサー自由行動下24時間血圧計を用いた計測 -	○小森孝洋, 金澤英紀, 星出聡, 苅尾七臣 (自治医科大)
	P-15	高所が身体に及ぼす影響の測定・調査	三ツ元三郎, 杉田浩一 (横浜山岳会)
	P-16	富士山頂で大気中の水分を集めて, 飲料水にする装置の実証実験	○中村亮太 (PicoLabo LLC), 藤崎透, 池田仁志郎 (TERU Inc.), 池英俊 (カンキョー)
	P-17	ネパール高所非電化農村地帯向け, 風力主体ハイブリッド発電機の実証実験	桐原悦雄 (産業技術大学院大)
	P-18	位置情報パケット通信システムの伝搬域の調査 - 山地行動者の行動把握を目指して -	○近藤英一 (山梨大)
	P-19	富士山頂から地球環境問題の最先端を学ぼうプロジェクト * 2017年度東京ガス環境おうえん基金助成事業	○鴨川仁 (学芸大), 宮下敦 (成蹊中・高), 大河内博 (早稲田大)
	P-20	世界文化遺産富士山における山頂・剣ヶ峰および旧富士山測候所の保全 * 2016年度大成建設自然・歴史環境基金助成事業	鴨川仁 (学芸大)